

第 1 回日本 PCI フェローコースに参加して最初のセッションが中川義久 Dr.による「医師に必要なコーチング」でした。

コーチングは「相手の自発的な行動を促すコミュニケーションの技術」で、「聴く」「質問する」「伝える」などのスキルを用いて「相手のゴール設定」「ゴールまでの行動サポート」を行うものですが、コーチング知識の有無が相手の行動に影響を与えることを考えると、医師としては是非習得しておくべきものだと痛感しました。

スキルについて勉強するにつれ、改善すべき点が次々と見つかります。一例として、「聴く」スキルの「ゼロポジション」では「先入観を持たず会話する」「聴きながら自分の思考を極力抑える」「相手の話の途中で話出さない」などが挙げられていますが、忙しい日常診療の中ではついつい相手の話を途中で遮って自分の意見を押しつけてしまったりすることが多く、非常に反省させられました。他のスキルからも学ぶことが多く、「オープン型質問の有効活用」「Iメッセージでの承認」なども意識することですぐに取り入れることが可能と思われました。一般企業ではコーチングに関する研修が当たり前になっているそうですが、これまで全く知識がなかったため勉強になりました。

最初はなぜ PCI の研修なのにコーチングのセッションがあるのだらうと思いましたが、医師としてチーム全体をまとめ上げていくために必要な知識であり、非常に刺激を受けました。PCI 手技上の細かい点だけでなく、このようにチームリーダーとしての医師育成を念頭に置いたプログラムも用意されているところが他の会との違いとなっており、本会の大きな独自性・有益性でした。